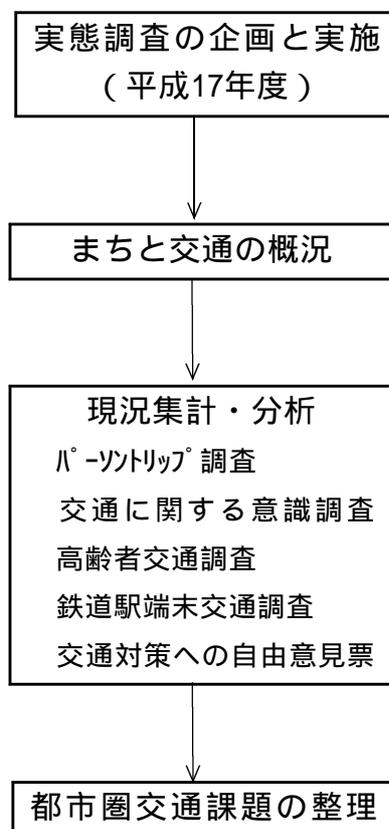


1 調査目的

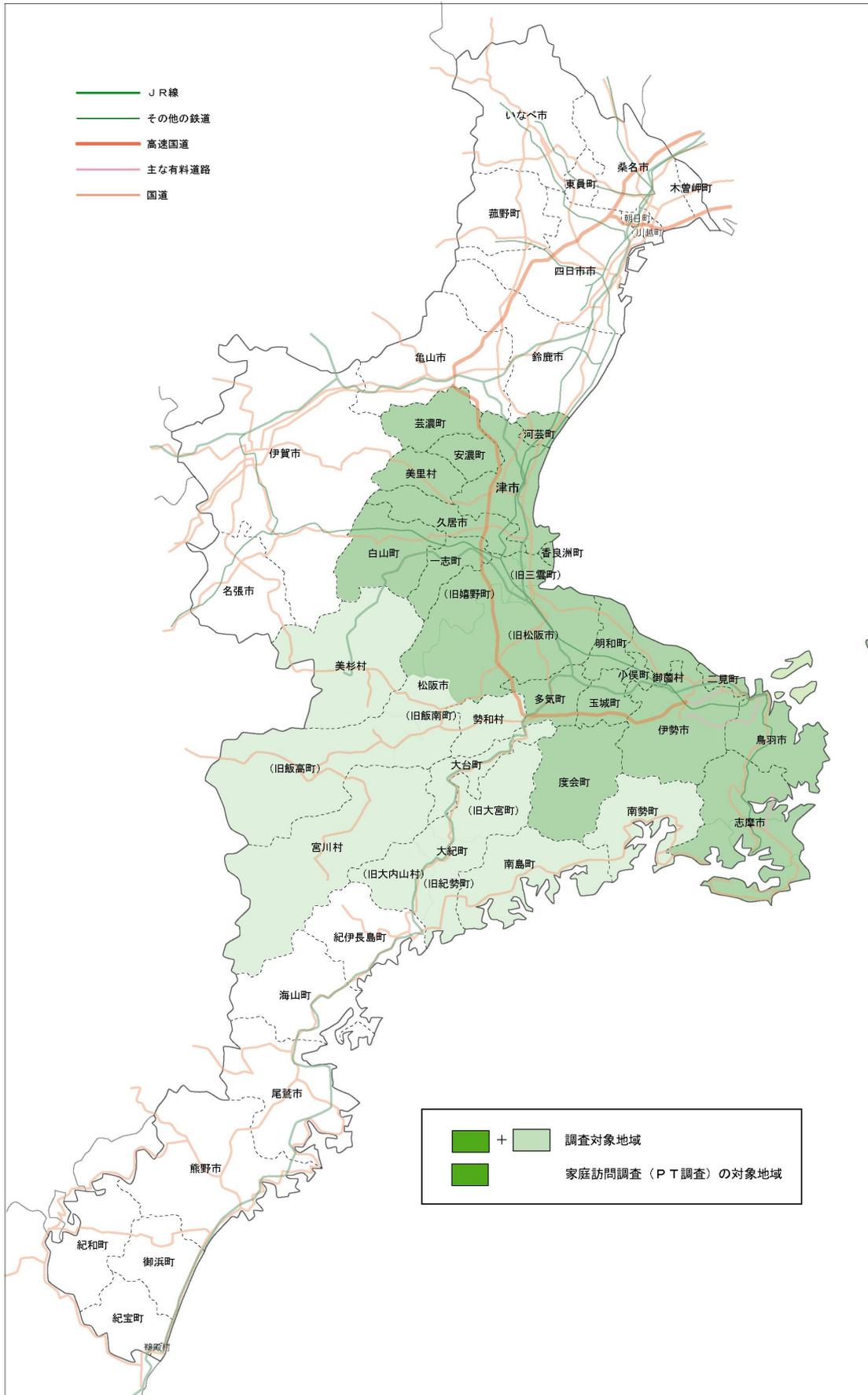
中南勢都市圏を対象とし、都市交通調査として、平成17年度に人の動きの実態データを捉えるとともに、平成18年度に現況交通課題の把握、将来交通量予測モデルの作成をし、将来都市構造を検討する。さらに、平成19年度に将来交通量予測を行い、将来のまちづくりに整合した当都市圏の都市交通計画を立案することを目的とする。

2ヶ年目の平成18年度は、平成17年度に実施したパーソントリップ調査、交通に関する意識調査、高齢者交通実態調査、及び鉄道駅端末交通調査の現況集計・分析を実施し、都市圏の交通課題を整理した。

2 調査フロー



3 調査圏域図



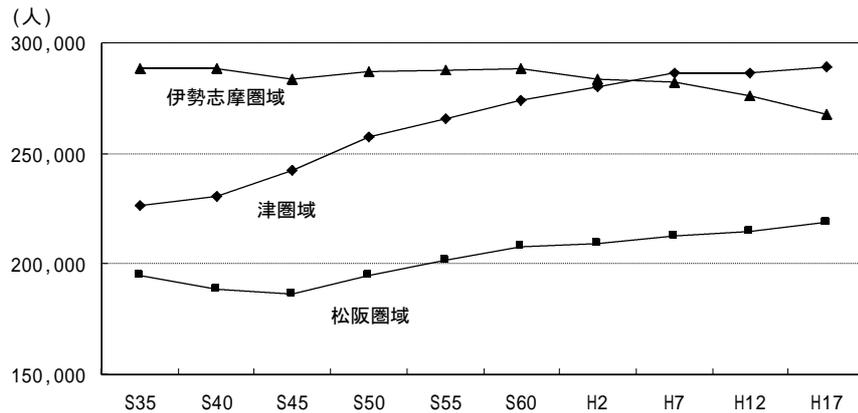
4 調査成果

4 - 1 まちと交通の概況

(1) 人口

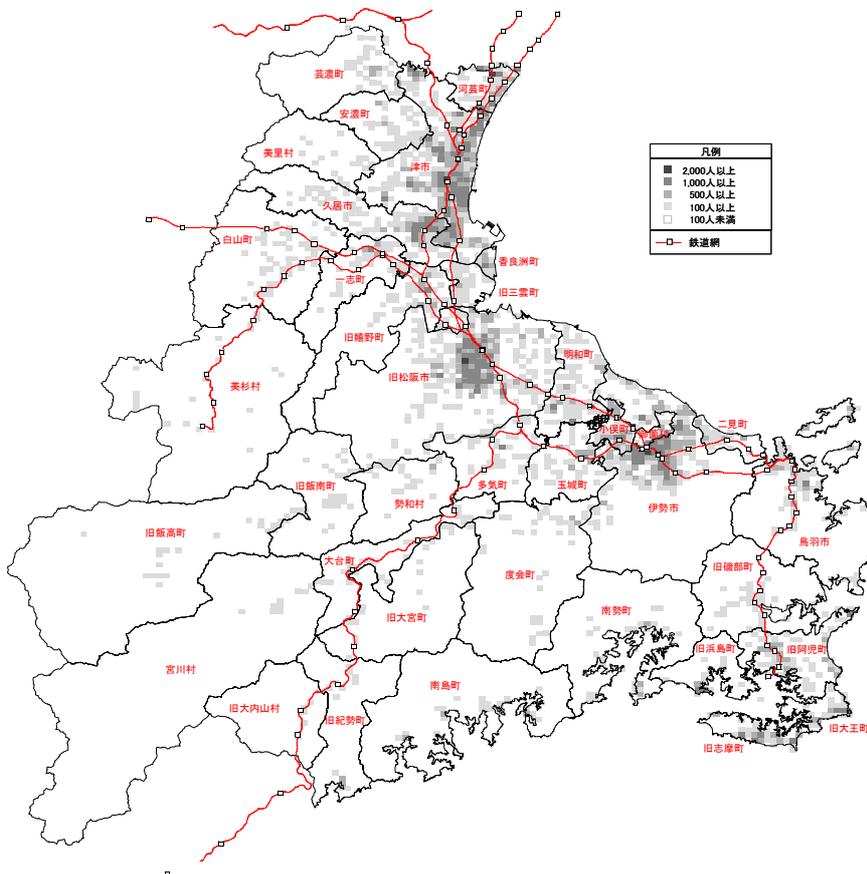
中南勢都市圏の総人口は、平成7年の約78.1万人をピークに減少し、平成17年で約77.5万人となっている。地域別では松阪は微増、津は横ばい、伊勢志摩は減少となっている。

図 人口の推移



鉄道駅周辺を中心に人口密度が相対的に高い地区が広がっている。また、津市、松阪市、伊勢市では、郊外部でも人口密度が比較的高い地域がみられる。

図 人口分布 (平成12年・500mメッシュ別人口)



(2) 通勤・通学

通勤・通学依存率は、津市、松阪市、伊勢市を中心とした放射状の結びつきや、母都市間相互の結びつきがみられる。また、通学は通勤に比べ依存率が高い。

図 通勤依存率(5%以上)

平成12年(2000)

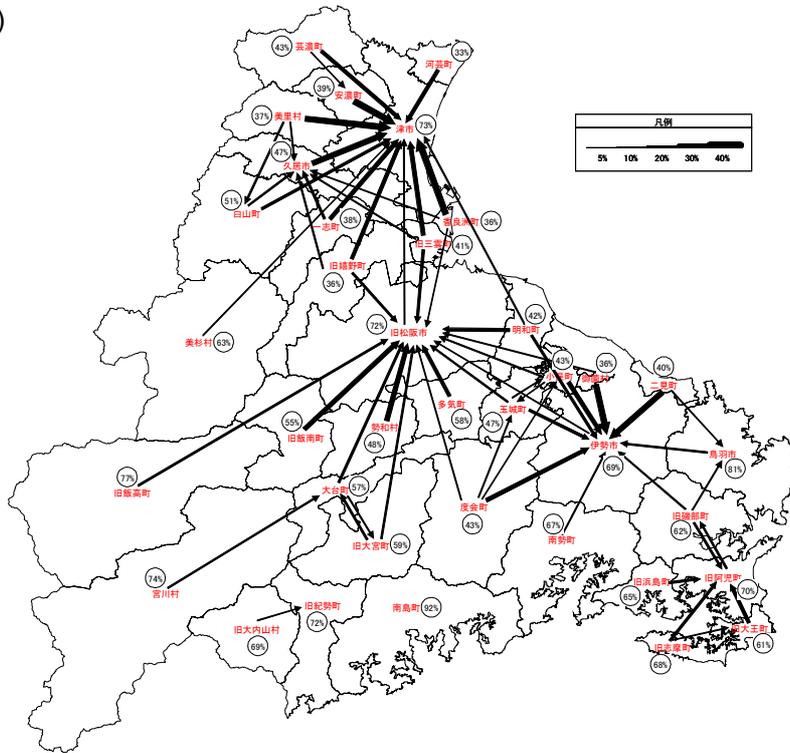
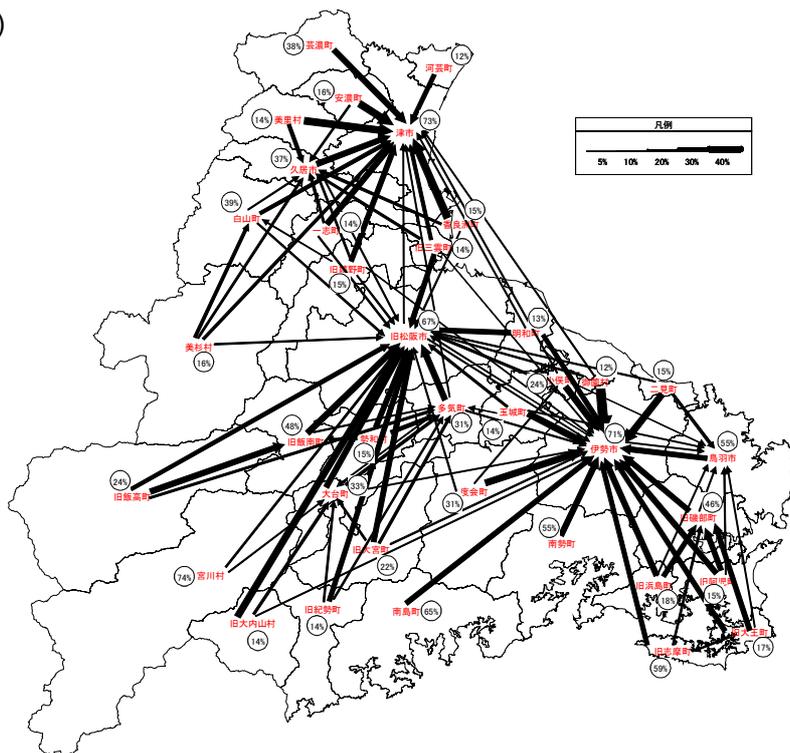


図 通学依存率(5%以上)

平成12年(2000)



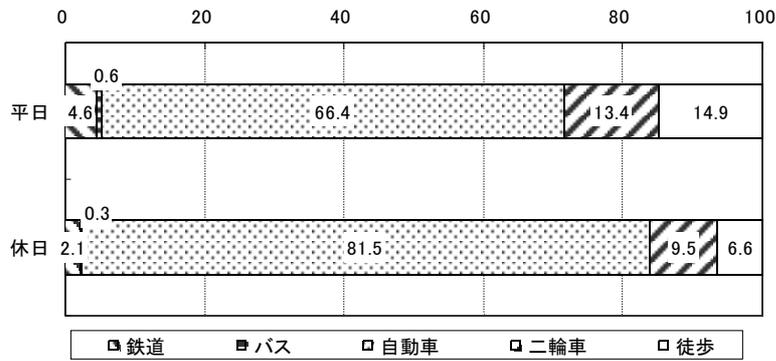
4 - 2 現況集計・分析

(1) パーソントリップ調査

代表交通手段構成比

県内の他地域に比べ、公共交通の分担率が最も低い。

図 平・休日別代表交通手段構成比



参考：県内他地域における平日の代表交通手段別構成比（％）

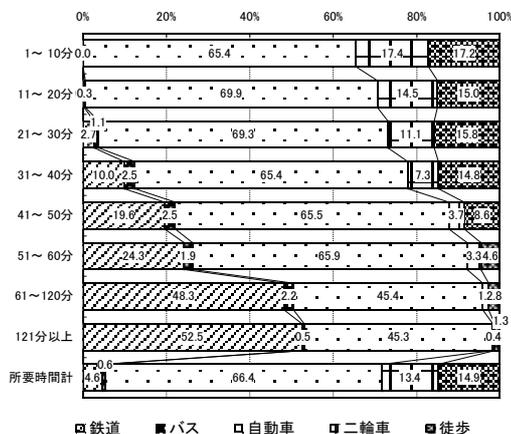
居住地域	鉄道	バス	自動車	二輪車	徒歩
中南勢	4.6	0.6	66.4	13.4	14.9
津・久居	5.3	0.9	65.8	13.6	14.4
松阪	5.0	0.3	67.7	14.0	13.0
伊勢・志摩	3.2	0.7	66.4	13.0	16.8
桑名・員弁	8.5	1.5	62.1	12.0	15.8
四日市	7.8	1.1	62.3	12.7	16.2
鈴鹿・亀山	5.5	0.4	66.8	14.2	13.1
伊賀	9.5	1.3	63.3	10.3	15.6

所要時間からみた自動車の利用特性

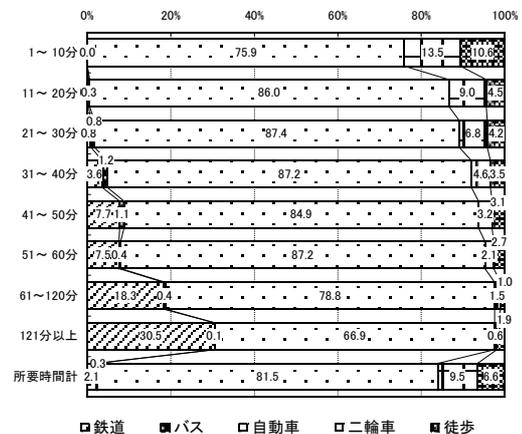
自動車の利用割合は短時間のトリップにおいては徒歩・二輪車と競合し、長時間のトリップでは鉄道と競合している関係がみられる。

図 トリップ所要時間ランク別代表交通手段別構成比

(平日)



(休日)



母都市へのアクセス利便性

旧津市、旧松阪市、旧伊勢市の母都市への等時間圏域の広がりを見ると、各都市ともに公共交通に比べ自動車の方が等時間圏域が広く、公共交通でのアクセス利便性が相対的に低い。

図 旧津市へのアクセシビリティ

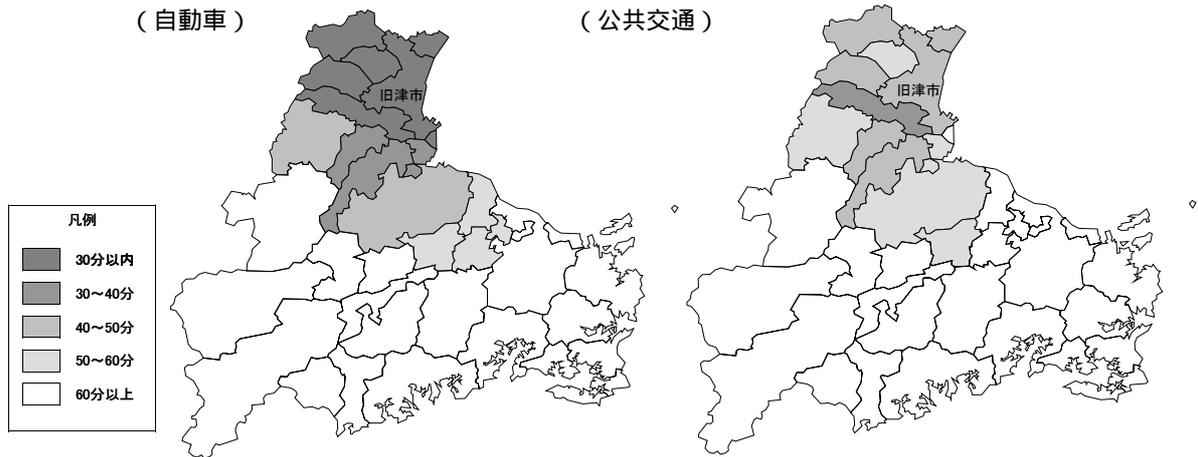


図 旧松阪市へのアクセシビリティ

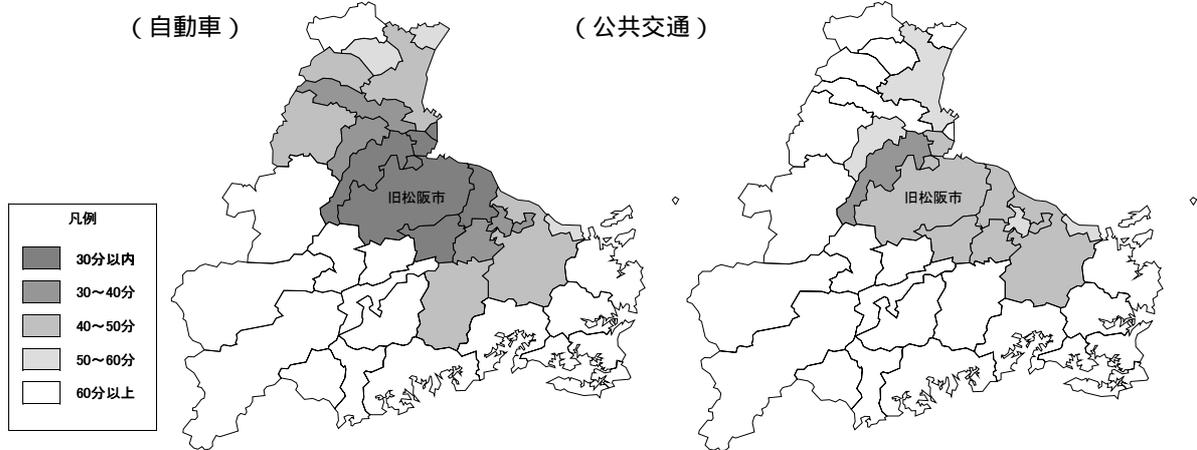
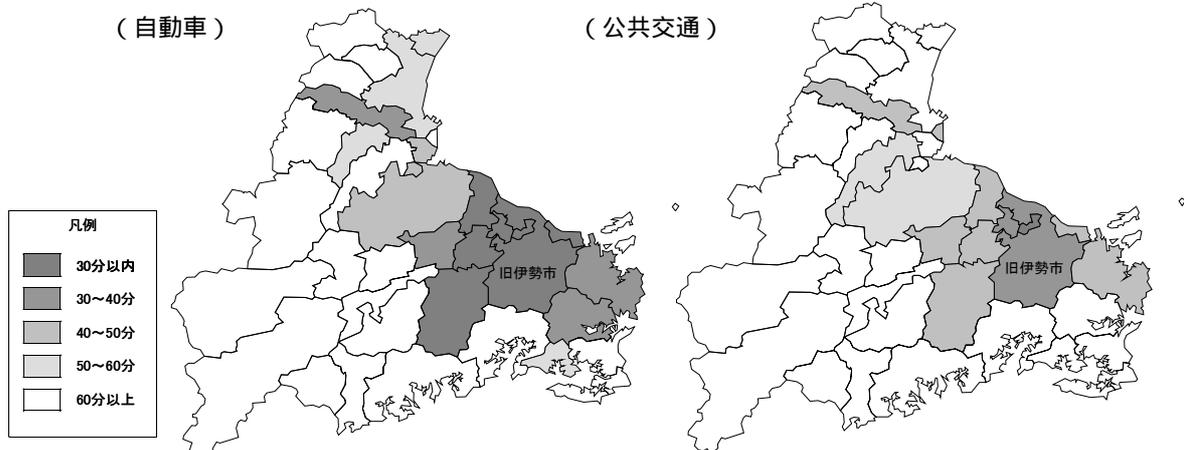


図 旧伊勢市へのアクセシビリティ



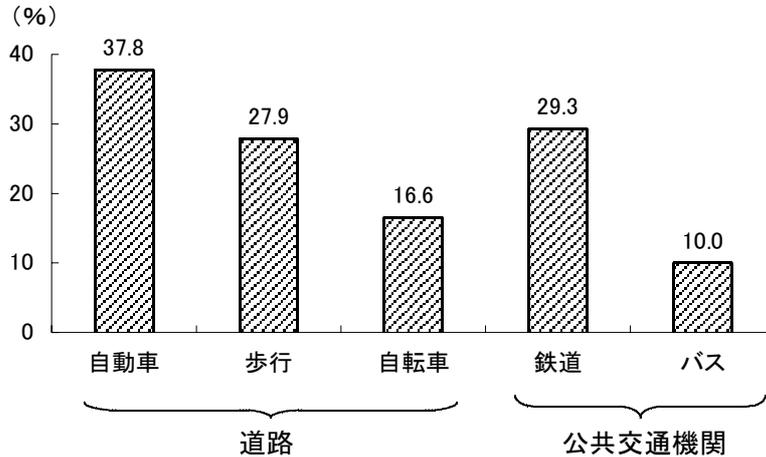
(注) 各市町村から母都市へのトリップ時間の平均値であり端末所要時間も含む。

(2) 交通に関する意識調査

交通施設の満足度

中南勢地域で道路や公共交通機関を利用する際の満足層は「自動車」が最も高く、次いで「鉄道」「歩行」「自転車」「バス」の順となっている。

図 交通施設利用の満足層の割合



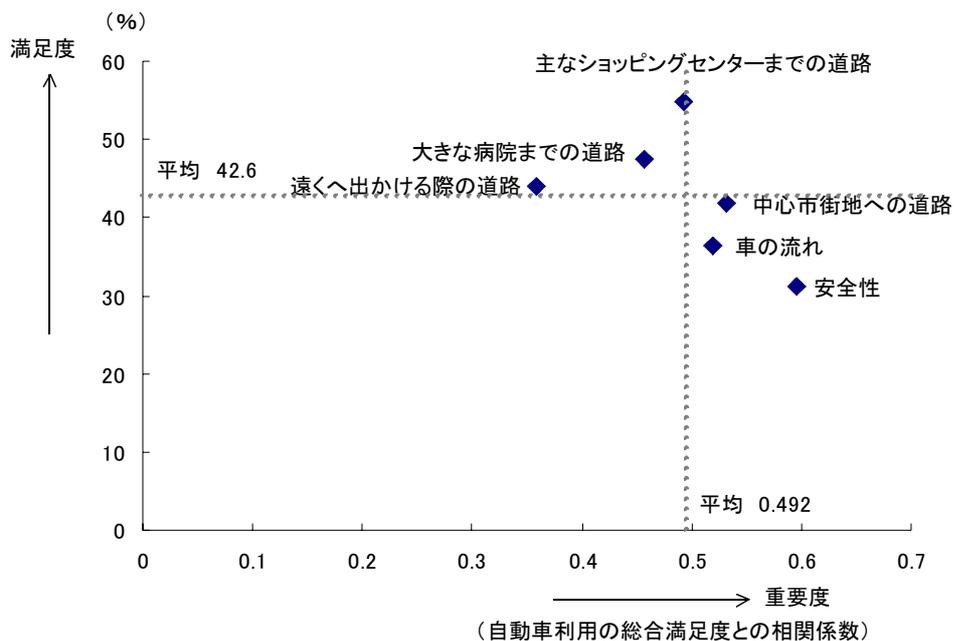
満足度の構造分析

中南勢都市圏における道路、鉄道、バス利用者の個別評価項目の満足度と重要度を座標軸上に展開すると以下のとおりである。

ア) 道路利用者

右下の象限に位置される「安全性」や「車の流れ」は現在の満足度が相対的に低く、自動車利用の総合満足度を向上させるための重要な要素となっている。

図 道路利用者の項目別満足度と重要度の関係



イ) 鉄道利用者 (近鉄・JR)

近鉄では、満足度が高い項目ほど重要度も高い関係がみられる。「駐輪場の使いやすさ」「バスの使いやすさ」「駐車場の使いやすさ」といった鉄道駅アクセスの項目は左下の象限に位置しており、満足度は低いものの、近鉄利用の総合満足度向上に対する影響力は小さなものとなっている。

JRでは、「運行本数」が満足度が低く重要度が高いことから、JR利用の総合満足度を向上させるための重要な要素である。なお、近鉄に比べると平均満足度が低く、右下の象限に含まれる個別評価項目も多い。

図 近鉄利用者の項目別満足度と重要度の関係

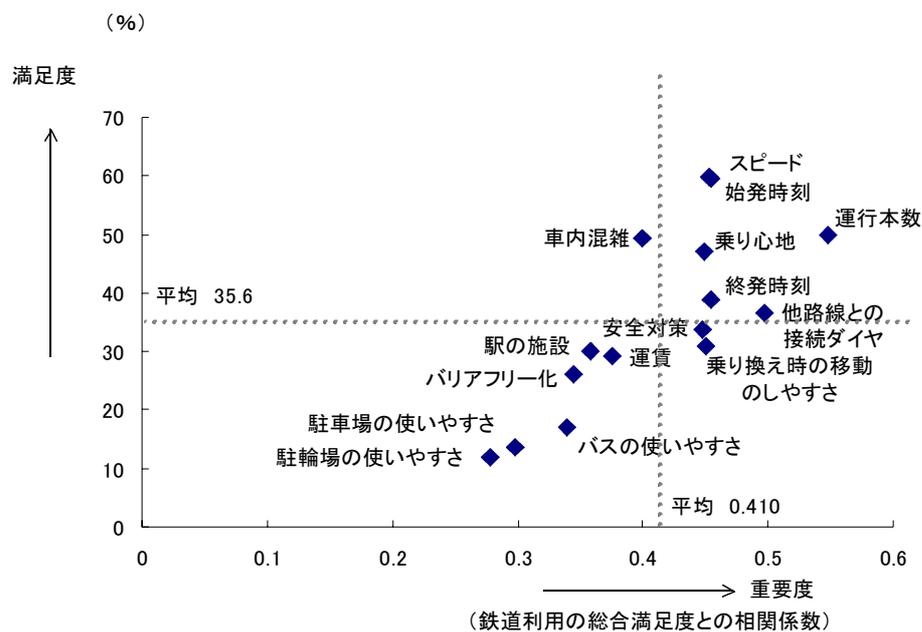
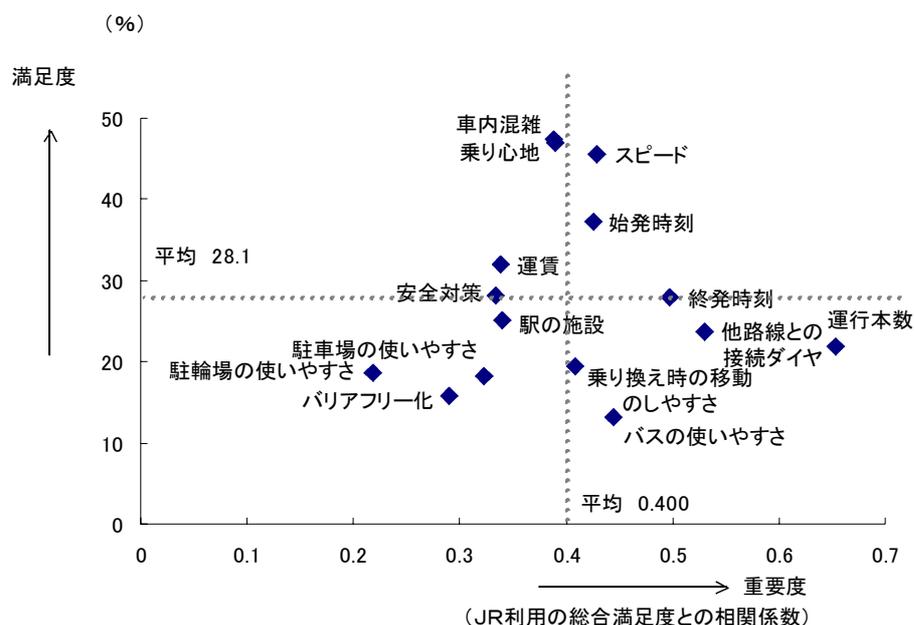


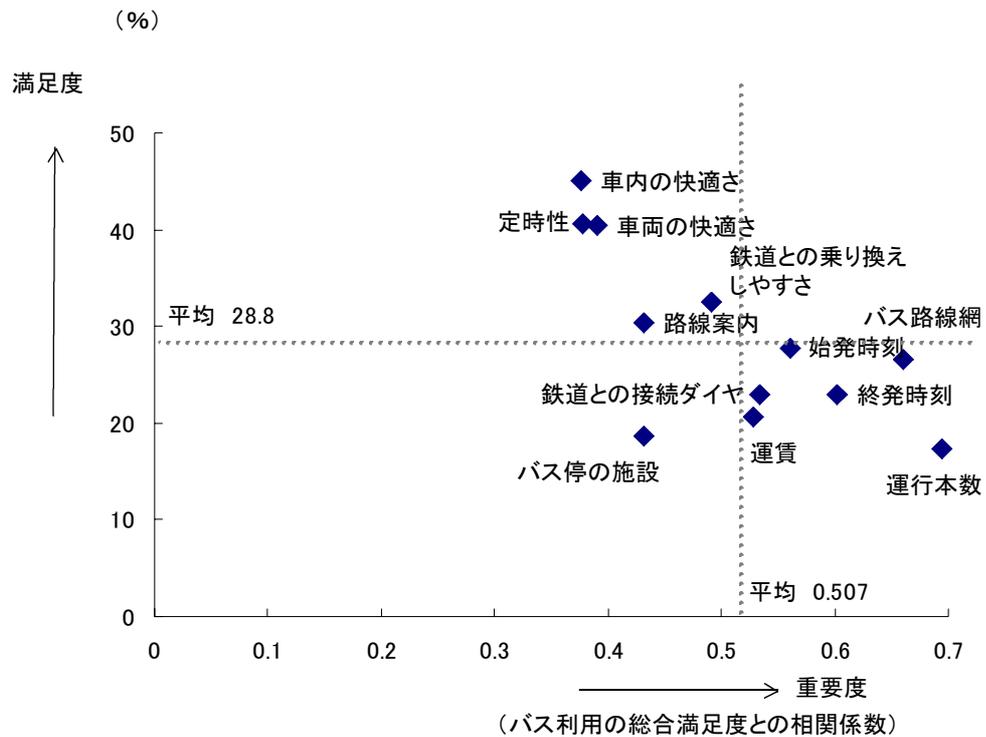
図 JR利用者の項目別満足度と重要度の関係



ウ) バス利用者

バス利用では、右下の象限に位置される「運行本数」「終発時刻」は満足度が相対的に低く、バス利用の総合満足度を向上させるための重要な要素となっている。

図 バス利用者の項目別満足度と重要度の関係



4 - 3 都市圏交通課題の整理

(1) 現状分析

中南勢都市圏の概況、現況集計分析結果の概要は以下のとおりである。

1) まちと交通の現状

項目	概要
まちの現状	人口高齢化（圏域共通） 人口減少（伊勢志摩） 大規模工場の立地（松阪） 通勤・通学圏の拡大（圏域間、圏域内） 大型店舗の郊外立地と中心市街地の低迷（圏域共通） 中心市街地の人口減少（圏域共通） 自動車保有台数の増加（圏域共通） 交通事故発生件数の増加（圏域共通） 自動車に起因する二酸化炭素排出量の増加（圏域共通） 観光入り込み客数の減少（伊勢志摩）
交通の現状	主要幹線道路の慢性的な混雑・渋滞（国道23号、42号、鳥羽松阪線等） 市街地における道路混雑・渋滞（津、松阪、伊勢等） 鉄道、バス輸送人員の長期的な減少（圏域共通） 乗合バス路線の縮小、コミュニティバス等運行増加（圏域共通） 観光地への交通アクセス向上の課題（伊勢志摩）

2) P T ・交通に関する意識調査・高齢者交通調査

項目	概要
P T 調査	県内他圏域に比べ高い自動車分担率（圏域共通） 母都市へのアクセス利便性は車 > 公共交通（圏域共通） 朝8時台に集中する出勤自動車トリップ（圏域共通） 家事・買物自動車利用は休日が平日の2倍（圏域共通）
交通に関する意識調査	安心安全、地域活性化、防災対策等へのニーズが高い 自動車に比べ公共交通、徒歩二輪の満足度が低い 車利用者は安全性、車の流れに対する満足度が低い 歩行者、自転車利用者は安全性に対する満足度が低い 買物での中心市街地の利用が少ない（伊勢市、志摩市等） 中心市街地の駐車場利用の満足度が低い（圏域共通） 病院アクセスの満足度が低い（南伊勢町、度会町等） 遠くへ出かける場合の道路網の満足度が低い（南伊勢町、明和町等） 鉄道は駅の駐車場等アクセス手段に対する不満が大きい パークアンドライド駐車場のニーズが比較的大きい（松阪駅、津駅、伊勢市駅等） バスは運行本数に対する不満が大きい
高齢者交通調査	高齢者の1 / 3は年をとったら運転をやめたいと考えている 代替交通手段としては送迎やバスへのニーズが大きい

(2) 都市圏の主要課題の整理

中南勢都市圏の現況交通課題を整理すると以下のとおりである。

項目	概要
モビリティの確保	<p>(道路網の整備)</p> <p>現況の道路混雑・渋滞に対応する道路容量の拡大 圏域間交流を促進する道路網の整備</p> <p>(生活交通の維持・確保)</p> <p>通勤・通学等のためのバス路線の維持・確保 高齢者等の交通弱者の生活交通を支えるバス等の公共交通の維持・確保</p> <p>(鉄道利便性の向上)</p> <p>パークアンドライド、バス、自転車等の駅アクセス手段の利便性向上</p> <p>(観光地アクセスの課題)</p> <p>伊勢志摩圏域の魅力ある観光地を支える交通アクセスの向上</p>
適切な交通手段への誘導	<p>(骨格道路網の混雑・渋滞への対応)</p> <p>都市圏の骨格を形成する国道23号、42号、主要地方道鳥羽松阪線等の主要幹線道路の混雑・渋滞への対応</p> <p>主要都市市街地における出勤自動車による朝ピーク時を中心とした道路混雑・渋滞への対応</p> <p>大規模工場への出勤自動車交通による道路混雑・渋滞への対応</p> <p>休日における大型店舗への買い物自動車交通集中への対応</p> <p>(環境の課題)</p> <p>環境負荷の小さい交通体系の構築 過度な自動車利用への依存の是正</p>
望ましい都市圏構造への誘導	<p>(中心市街地の再生の課題)</p> <p>大型店舗の郊外立地による中心市街地の衰退への対応</p> <p>中心市街地の駐車場整備等によるアクセス利便性の向上</p> <p>人口誘導や都市機能誘導による中心市街地の再生</p> <p>(津市、久居市、松阪市、伊勢市、鳥羽市)</p>
安心・安全の確保	<p>(安心・安全な交通体系の構築)</p> <p>交通事故増加への対応</p> <p>歩行者・自転車走行空間の確保</p> <p>病院アクセス利便性の向上</p> <p>防災交通対策の充実 等</p>